

しょうけい館 長崎展

戦傷病者史料館

戦傷病者とその家族の労苦を伝える

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

入場
無料



日章旗

長崎県大村市の方より
寄贈された日章旗



千人針

長崎県島原市の方より
寄贈された千人針



義眼

長崎県五島市の方より
寄贈された義眼



摘出弾

長崎県大村市の方より
寄贈された摘出弾

長崎ゆかりの資料展示

～徴兵検査から受傷、そして戦後の労苦まで～

兵士の入隊、受傷、社会復帰そしてその後の労苦を、長崎にお住まいの方々から寄贈された資料と共に展示します。

証言映像コーナー

長崎にお住まいの戦傷病者の証言映像を上映します。

長崎県傷の紹介

傷痍軍人会において現在でも活動をしている長崎県傷痍軍人会。その長崎県傷痍軍人会のあゆみを紹介します。

展示紹介

平成30年

6.30_土-7.8_日

長崎歴史文化博物館 企画展示室

〔開場時間〕 午前10時30分～午後6時

〔主催〕 しょうけい館（厚生労働省委託） 〔共催〕 長崎県傷痍軍人会 〔後援〕 長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会

www.shokeikan.go.jp

しょうけい館 戦傷病者史料館 長崎展

しょうけい館は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

今年、終戦後73年目を迎え、戦後生まれの世代が大半を占め、戦争を体験し、戦後を生き抜いてきた世代が少数となってきています。戦争体験と一口に言ってもその中身はさまざまですが、戦傷病者の方の中には「自分は死ぬまで傷痍軍人」と言う人もおり、戦後もさまざまな苦勞と共に生きてこられた方がおられます。そのような労苦を、戦争を知らない次の世代へ継承していくために、長崎県にて地方展を開催致します。

長崎ゆかりの資料展示

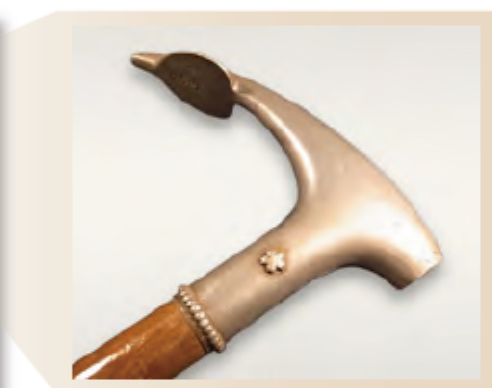
～徴兵検査から受傷、そして戦後の労苦まで～

兵士の入隊、受傷、社会復帰そしてその後の労苦を資料と共に紹介します。

また、長崎にお住まいの方々から寄贈された資料も展示します。



長崎県雲仙市の方より
寄贈された奉公杖



九州にお住まいの方より寄贈された
奉公杖 (握り部のみ)



長崎県傷痍軍人会から寄贈された褥

図書・体験コーナー

長崎県の戦傷病者の体験記やその他関連図書をご覧いただけます。
また、義手・義足を実際に触って体験することもできます。

証言映像コーナー

しょうけい館が収録した長崎の戦傷病者の証言映像を上映します。

映像タイトル	映像タイトル
心の優しさが生んだ義足の苦しさ	受傷が拓いた人生
全てを奪われた少年の再起の人生	近衛兵の誇りを胸に
奪われた光をバネに	生かされた人生への感謝

会場

長崎歴史文化博物館 企画展示室

〒850-0007 長崎市立山1丁目1番1号

会期：平成30年6月30日(土)～7月8日(日) 開場時間：午前10時30分～午後6時

アクセス

●JR利用の場合

- ・JR長崎駅より、桜町方面へ徒歩10分
- ・JR長崎駅(ファミリーマート前バス停)より、県営バス(風頭町～夢彩都線)「歴史文化博物館」下車

●バス利用の場合

- ・路線バス「桜町公園前」下車。徒歩3分。
- ・県営バス(風頭町～夢彩都線)「歴史文化博物館」下車。

●路面電車利用の場合

- ・「桜町」下車。徒歩5分。
- ・「長崎駅前」下車。桜町方面へ徒歩10分。
- ・「公会堂前」下車。桜町小学校方面へ徒歩10分。

●車利用の場合

- ・長崎自動車道(長崎芒塚IC)より諏訪神社方面へ10分

